



# 学校だより



## ～全国学力・学習状況調査、市学力・生活習慣状況調査の結果から～

今年度も「全国学力・学習状況調査」「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」の調査を実施しました。その結果の考察と今後どのように授業や指導に生かしていくかについてお知らせします。

全国学力・学習状況調査は、6年生を対象に実施しました。調査内容は、教科に関する調査（国語・算数）と生活習慣・学習環境等に関する質問調査の2つです。目的は、「児童生徒の学習状況を把握・分析し、教育施策や指導に生かす」というものです。

丹波篠山市学力調査は3～5年生、生活習慣状況調査は小学校3～6年生を対象に実施しました。調査した内容は、教科に関する調査（国語・算数）と生活習慣調査の2つです。ねらいは、「学習指導要領に示されている内容について児童生徒の定着状況を把握し、指導計画の見直しや指導方法の工夫改善に生かす」というものです。保護者の皆様にお知らせし、一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3年生 国語

- 「書くこと」は、全国平均とほぼ同程度で、留意点に注意しながら文章化することができる。
- △「情報の扱い方に関する事項」、「漢字を正しく書く（筆順）」「説明文を正しく読み取る」に課題が見られる。

### 3年生 算数

- 「測定」、「データの活用」全国平均とほぼ同程度で長さやかさ、時計の読み取りができる。
- △「図形」、「数概念（大きな数や分数）」に課題が見られる。

### 3年生の取り組み

- ①各教科を通して、「教科書」に書かれている内容を正しく読み取る力をつける。
- ②国語科では、様々な文章に触れる機会として読書習慣をつけ、常に机の中に読書本を入れておく。
- ③授業の中で、「正しく読み取り」「順序立てて書いたり話したり」できる力を意識してつける。
- ④漢字は、熟語やことばの使い方として覚えられるよう授業での新出漢字学習や宿題の出し方を工夫し、語彙を増やす。
- ⑤作文用紙の正しい使い方や表記の仕方（カタカナや拗音、促音等）を学ぶ機会を授業に取り入れる。
- ⑥三角形や円、球などの図形では、具体物を提示し、体験を通じた学習を重視する。また、図形の定義を言葉でしっかりつかませる。また、『頂点、辺、面、角』等の算数用語もしっかりおさえておく。
- ⑦「数概念」については、数のしくみについて自分で説明できたり、位取り表が描けたりできる力をつける。分数や小数については、数の定義をしっかりとつかませ、図などで表すことができる力をつける。
- ⑧引き続き、授業最初に計算スキルを実施し、数のセンスを磨く。

### 4年生 国語

- 文を書く力がある。また、文章を書く問題では、書こうという意欲が見られる。
- △基礎的な力が全国平均よりも下回っている。主に漢字の読み書き、ローマ字、説明文の読み取りが苦手である。

### 4年生 算数

- 基礎の計算は、おおそできている。
- △活用の点では、2けた×2けたの計算の問題で、筆算の仕方を理解していない可能性がある。
- △はかり、グラフの問題では、1目盛りが表していることが理解できていない傾向がある。
- △時間が足りなく最後まで問題を解けていない。

### 4年生の取り組み

- ①漢字ドリルで既習した熟語以外の漢字も読む学習も取り入れる。
- ②段落ごとに筆者が伝えたいことや要約させることを授業に取り入れる。

- ③「b」「d」が混同していたため、外国語でクロームブックを活用し、違いが分かるようにする。
  - ④かけ算の筆算を定期的に解く機会を設定する。
  - ⑤数直線やグラフの目盛りいくつかを考えさせる。
- 

### 5年生 国語

- 「思考・判断・表現」は全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況である。
- △漢字・文章の書き方に課題が見られる。
- △修飾語の理解・漢字辞典の使い方に課題がある。
- △登場人物の気持ちを考える問題はよくできているが、文章全体を読んで、気持ちの変化や情景を想像することが難しい。また、伝えたいことの本質をとらえて、それを活用して考えることに課題がある。

### 5年生 算数

- 大きな数・面積・ひし形の作図・変わり方調べは、全国平均と同程度かそれより良くできており、おおむね良好な状況である。
- △概数・四捨五入・分数の大小比較・3桁÷2桁のわり算・小数のひき算わり算に課題が見られる。
- △分度器の180°以上の測定方法・およその面積・立体の平行の辺・割合に課題が見られる。
- △1つの思考で解ける問題には強いが、順序立てて複数の思考を必要とする問題に弱い。

### 5年生の取り組み

- ①漢字辞典・国語辞典を使用する時間を確保し、多くの熟語にふれられる新出漢字の学習を進める。
  - ②指定された文章の量と段落を意識して、文章を書く活動を更に入れていく。
  - ③物語や文章を、じっくり読む機会を増やす。
  - ④書き手の伝えたいことや要旨を、文章の中から見つけたりまとめたりする活動をする。
  - ⑤計算スピードが遅く見直しの時間確保ができていないので、授業スタートのマス計算を継続する。
  - ⑥概数・およその面積や数を予測できるよう、生活の中でも繋げて考える機会を作る。
  - ⑦分度器・コンパス・三角定規で問題を解く機会を増やし、学習器具の使い方に慣れさせる。
- 

### 6年生 国語

- 全国平均より高く、おおむね良好な状況である。
- △修飾語の問題の正答率が低い。
- △条件が提示されている問題について、一部の条件だけを満たした回答になっている。

### 6年生 算数

- 「思考・判断・表現」は全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況である。
- △式をすべて書かず、暗算で終わらせていたり、何を求める式なのか理解できていなかったりする。
- △線分図を読んだり、図形を理解したりすることが苦手である。
- △速さ、面積の概念が定着していない。
- △様々な条件が組み合わさった問題の意味を理解することが難しい。

### 6年生の取り組み

- ①それぞれの修飾語がどの部分の内容を詳しくしているのかを考える機会を増やす。
- ②課題の条件を理解するため文章を丁寧に読み、文章を書いたあと、条件を満たしている箇所に線を引くなどの工夫の仕方を考える。
- ③書く条件等を入れた、書く活動を多く取り入れる。
- ④答えを求めるための式については、すべて書く。
- ⑤図や絵で説明するだけでなく、関係図や線分図、数直線など算数的な図や表を描く。
- ⑥書いてある数字を使って式をつくるのではなく、式の意味を考える活動を行う。
- ⑦面積を求める問題で、底辺が必ず下にあるのではないというものの学習をする。
- ⑧基礎基本を応用した問題に日頃からチャレンジする時間をつくる。

以上のように、学校で取り組んでいきます。そして、学校と家庭と連携して子ども達の健やかな成長につなげていきます。そのためにご家庭でも、①より良い生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯など）②子どもたちへの働きかけ（家庭内での会話、ゲーム・スマホのルール作り、読書のすすめ、家庭学習時の声かけなど）をよろしく願います。1学期に配布の『家庭学習の手引き』に、各学年の児童の特徴や学習内容、家庭学習のめやすなどについて記しています。いま一度ご覧ください。よろしく願いいたします。